# 2026 年度 参加者募集

**募集人数：12 名程度**

地域におけるリサーチ型芸術実践のモデルケースとして、島／沖縄にクローズアップした『講座 – 知ること』とそれによる成果を公開する『展示 – 表現すること』が一連となったプログラムです。まずは、芸術実践の「場」の始まりとなる講座（8 月開催）に参加し、受講生は「島／暮らし」をテーマに、講師となるアーティスト・キュレーターとともに地域のさまざまな側面を探求しながらフィールドワークを行います。講座を通じて、集めた資料や素材を、地域の人々へ語りかける「投壜通信（message in a bottle）」のイメージで成果物として形にまとめ、最終的に 1 週間ほどのリサーチ展示（11 月開催）へと結実させます。事前の『オリエンテーション』、『リサーチ型講座』、『成果展』の 3 つのプログラム全てに参加できる方を募集致します。

受講料：無料　＊別途、材料費として 1,000 円ほどかかります。
参加条件：以下の section1～3 の全てに参加できる方。
対象：フィールドワーク・アートに興味のある方。一般、フリーランス、学生の場合は大学院生以上。

## section 1　オリエンテーションへの参加

**オリエンテーション（オンライン）**　＊募集締め切り後、参加者へオンライン用の URL をお知らせいたします。
日程：2026 年 8月 1日（土）12：00～13：00・内容：宿題の発表、講座までに準備するもの、注意事項、など

## section 2　リサーチ型講座への参加

**講座 ー 知ること（対面）**
テーマ：「見て、調べて、選んで、並べて、言葉にする。」
内容：キュレーションの方法論を通じて、他者へとメッセージを投げること、また受け取ることについて考える。

講師：岡田有美子（キュレーター）

・日程：2026 年 8 月 19 日～8 月 23 日　13：00～16：00
　8 月 19 日（水）「じっと見る」ガイダンス、宿題提出
　8 月 20 日（木）「歩いて見る」フィールドワーク①
　8 月 21 日（金）「調べる」フィールドワーク②
　8 月 22 日（土）「選んで、並べる」グループワーク
　8 月 23 日（日）「言葉にする」まとめ、ディスカッション
・場所：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス　一般教育棟
　＊フィールドワークの日は現地集合・現地解散となります。

岡田有美子
（おかだ・ゆみこ）

キュレーター。明治大学大学院理工学研究科建築・都市学専攻総合芸術系博士後期課程修了。かつて沖縄県那覇市にあった前島アートセンター（MAC）で事務局をつとめる。MAC が前島から栄町市場に移転した際、市場の南米料理店で沖縄キューバ友好協会と出会い、それが縁で文化庁新進芸術家海外研修生としてキューバに滞在。以降、沖縄とキューバを中心に、島嶼地域における美術の研究、展覧会企画を行なっている。現在は鳥取、京都、沖縄を行き来しながら暮らす。フィメール・ラップ SAN-IN 主宰。現在、京都芸術大学大学院芸術研究科芸術専攻准教授。

## section 3　成果展への参加

**展示 ー 表現すること**
成果展：　「message in a bottle　島と／詠む　Vol.5」
会期（予定）：2026 年 11月 25日（水）～11 月 29日（日）　＊プレゼンテーション：11 月 28日（土）
・講座参加者は、8 月の講座を通じて集めた資料や素材をまとめ、1 週間の成果展を行います。
・場所（予定）：沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館

**応募締め切り　2026 年 7 月 24 日（金）**
＊定員に達し次第、募集は終了いたします。

QR コード、または以下の URL より
お申し込みください。
https://forms.gle/9GXHtQP4BPsjRgZ88

# リサーチ型プロジェクト 2026
# 「message in a bottle - 島の暮らし、島からの発信」

沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

問合わせ：沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 絵画専攻　阪田清子研究室
TEL　098-882-5051　　メール　k-sakata@okigei.ac.jp